

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回2月の「てがたん」は2月14日(土)で、「立春の生き物探し」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方々へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは2月7日(土)です。よろしくお願いいたします。

## 1月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→漁協前→手賀沼遊歩道→カッパの像前→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2008年12月13日(土)/晴れ
- 参加者 27名(一般21名 子ども6名)
- スタッフ 9名(青木義尚、石原直子、伊東茂子、木村稔、小泉伸夫、弘實さと子、松村定雄、湯瀬一栄、吉田一博)
- 鳥博職員 2名(岡廣志、村松和行)

## 観察記録 - 1月に観察した生き物リスト-

### 【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ、アオサギ/カモ科：マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ/タカ科：ミサゴ/クイナ科：バン、オオバン/シギ科：イソシギ/カモメ科：ユリカモメ、セグロカモメ/ハト科：キジバト/カワセミ科：カワセミ(声)/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/モズ科：モズ/ツグミ科：ツグミ/アトリ科：シメ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス/家禽：バリケン、ドバト

【昆虫・クモ】 サシガメの仲間：ヨコヅナサシガメの幼虫 クモの仲間：ナガコガネグモの卵塊

【キノコ】 ヒイロタケ

### 【植物(花)】

ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ/ナデシコ科：コハコベ/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/ツバキ科：タチツバキ(園芸種)

### 【植物(ロゼット)】

キク科：オオアレチノギク、セイヨウタンポポ、ハルジオン、ノゲシ、オニノゲシ、チチコグサモドキ、オニタコビラ/タデ科：アレチギシギシ、スイバ



# 1月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「冬鳥観察」でした。晴天でしたが風がとても強く、岸近くで身を縮めて風と寒さをしのいでいる鳥たちの姿が印象的でした。強風でウグイスやアオジなどヨシ原の鳥は観察できませんでしたが、ツグミがあちこちで飛び立ったり遊歩道沿いのニセアカシアには、シメがとまっていたりと冬の鳥をいくつか観察しました。



今回の案内人

木村稔さん



漁協前にはオナガガモがたくさん！



ミサゴ

主に魚をとるタカの仲間  
(体長 34~38cm)



コガモ

♂は顔の緑とおしりの黄色が目立ちます (体長 34~38cm)



ミミカイツブリ

(体長 31~38cm)



シメ

ハジロカイツブリは、ミミカイツブリに比べて、くちばしはやや短く、少し上に反っています。

手賀沼には冬鳥として飛来し、ミミカイツブリよりも観察記録は多いです。



1月の観察コースと見た生き物

今回は4種類のカイツブリが観察できました。中でもミミカイツブリが一番観察記録が少ないです。

ミミカイツブリは手賀沼に冬鳥として飛来します。遠くから観察していると、ハジロカイツブリと非常に似ていますが本種は、くちばしが真っすぐでややぐりした体型です。



ハジロカイツブリ  
(体長 28~34cm)



イソシギ

翼のつけ根の白色がくい込むように見えるのが特徴 (体長 19~21cm)



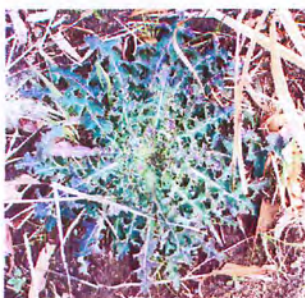
ヒイロタケ

サルノコシカケの仲間



風が来ない場所に集まるサギたち

## 植物たちの冬越し ~ロゼット~



オニノゲシ



アレチギシギシ



ハルジオン

### ロゼットとは？

冬に枯れずに、バラの花弁のように放射状に重なり合い、地表に密着して越冬する葉をロゼット葉といいそれが集まったものをロゼットといいます。ふつろゼットは夏以降に出てきた葉でつくられています。ロゼットの表面の葉をめくってみると下には春から夏にかけて出た枯れた古い葉が残っています。